**（報告書様式1）**

※提出の際、青字は削除してください。

※本報告書における「今年度」とは、報告の対象となる年度を指します。

**次世代研究者挑戦的研究プログラム**

**博士後期課程学生支援プロジェクト事業結果説明書（2023年度）**

**1．基本情報**

**（1）博士後期課程学生支援プロジェクトの題目**

**（2）機関名：**○○大学

※共同申請の場合は、主幹大学と共同申請する大学の両方の名称を記載してください。

**（3）事業統括名：**○○学部　教授　科学　太郎

※所属・役職・氏名を記載してください。

共同申請の場合は、主幹事業統括と事業統括の両方の氏名を記載してください。

**（4）次世代研究者挑戦的研究プログラム実施期間：**

　　2021年○月○日　～　20○○年○月○日

　※当該年度の実施期間ではなく、計画書様式１「助成事業計画書」表紙に記載の実施期間を記載してください。なお、本報告書の報告対象年度は、2023年度分となります。

**2.　博士後期課程学生支援プロジェクト実施状況の概要**

※「助成事業計画書」に基づき、記載してください。

　なお、一項目の記載内容は合計で200字程度とし、詳細は「4.博士後期課程学生の選抜等」「6.今年度の実施内容の詳細」等に記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目  （※1） | 計画  （※2） | 実施状況  （※3） | 進捗上の問題点と今後の対策等 |
| 学生の選抜 | 例：150名の学生を選抜する。 | 例：追加募集2回含め145名の学生を選抜した。特別研究員採用により2名辞退、2名補充。 | 例：未入国の学生5名。 |
| 学生の支援 | 例：生活費相当額15万円/月、研究費40万円を支給する。 | 例：生活費相当額（6ヶ月分）及び研究費を支給した。 | 例：未入国の学生については不要計上予定。 |
| 多様なキャリアパスの構築に向けた取組 | 例：地元企業にて無償インターンシップを行う。 | 例：A社（株）にて学生5名が3ヶ月間の無償インターンシップを実施した。 |  |
| 多様なキャリアパスの構築に向けた取組 | 例：学生3名を米国へ派遣する。 | 例：コロナにより中止した。 | 例：来年度上半期に派遣予定。 |
| 多様なキャリアパスの構築に向けた取組 | 例：選抜学生向けに英語による論文執筆セミナーを開催する。 | 例：2023年4月15日に開催し、全選抜学生が参加。 |  |
| ○○○ |  |  |  |

※1：計画書に基づき、必要に応じて適宜項目を追加してください。

※2：計画書に記載したすべての内容について簡潔に記載してください。

※3：実施結果を簡潔に記載してください。何らかの理由で実施できなかったとしても、その理由等を記載下さい。

**3.　体制**

※計画書から変更がない場合も記載してください。

**(1）推進体制**

**（1-1）大学等**

**主幹大学：**○○大学　※単独申請の場合は、「主幹大学：○○大学」を削除下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 部署　役職 | 役割分担 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**連携大学：**○○大学　※単独申請の場合は、本表を削除下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 部署　役職 | 役割分担 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**（1-2）外部協力機関**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | 氏名（役職） | 役割分担 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**4.　博士後期課程学生の選抜等**

**（1）募集方法等**

※2023年度に支援を開始した学生の募集方法、募集時期、選抜方法等について記載してください。

※選抜方法においては、審議の方法（書面審査、面接審査等）や、どのような審査項目や評価の観点を用いて審査を実施したのか記載してください。

※事業統括が審査にどのようにかかわったかを記載してください。

例：

募集方法：HPに掲載した上で、各学生宛にメールで通知した。

募集時期：2022年12月15日～31日まで募集した。申請数が少なかったため、2023年1月10日～20日まで追加募集を行った。

選抜方法：学生から申請書類を受け付け、オンラインによるヒアリング審査を実施した。

**（2）選抜体制**

※今年度の博士後期課程学生の選抜に関わった委員の氏名やポジションを記載してください。（外部からの委員も含む）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 所属・役職 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**（3）今年度の選抜実績**

※（上限数）の欄には支援上限数を記載してください。

※（対象者数）の欄には有資格者数（本事業の支援対象となる学生数）を記載してください。

※（応募数）の欄には、今年度の応募者数を記載してください。

※（採択数）の欄には、今年度実際に選抜した学生数を記載してください。

※（未入国）の欄には、今年度選抜したものの、未入国であった留学生数を記載してください。

※いずれも各学年及び合計に内数としての留学生数を（　）に、女性の人数を【　】に記載してください。

※辞退者の後任を補充するための選抜を行った場合、表には含めずに表下部に記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2023年度  （対象者数） | 2023年度  （応募数実績） | 2023年度  （採択数実績） | 2023年度  （未入国） |
| 1年生 | ○○（○）【○】 | 〇〇（〇）【○】 | ○○（○）【○】 | ○○【○】 |
| 2年生 |  |  |  |  |
| 3年生 |  |  |  |  |
| 4年生 |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※今年度支援上限数：○○名　※JSTより通知した支援上限数を記載してください。

※今年度補充人数：○○名　※辞退者の補充を行った場合を記載してください。

※今年度欠員○名　※欠員がある場合は記載してください。

**（4）応募者数が少なかった理由と対策**

※応募者数が大学の支援予定人数（上限）を下回った場合、その理由（考察）と対策（実施済み及び予定）について記載してください。

※該当しない場合は、以下を例に記載ください。

例；応募者数が支援予定数（上限）を上回ったので該当せず。

**（5）選抜倍率が低かった理由と対策**

※特に選抜倍率（応募（応募者数）/実績（選抜学生数））が1以下だった場合には、その理由（考察）と対策（実施済み及び予定）について記載して下さい。

※該当しない場合は、以下を例に記載ください。

例；選抜倍率が1を上回ったので該当せず。

**（6）支給期間及び支給額（金額は、支給期間内の学生一人あたりの支給額）**

※今年度に選抜学生一人あたりに支給した生活費相当額及び研究費の額と支給期間を記載してください。金額に幅がある場合は、その幅を「～」にて記載してください。なお、研究費については、全選抜学生に一律で配分した金額を記載してください。事業統括配分経費から期中に追加配賦した研究費は、「5．事業統括配分経費の配分方法」に記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生活費相当額 | 研究費 | 合計 | 支給期間 |
| 90万円 | 10万円～20万円 | 100万円～110万円 | 2023年10月～2024年3月 |

**5.　事業統括配分経費の配分方法**

※事業統括配分経費の使途について計画書で予定していた内容も含め全て記載してください。計画書に記載したが未執行だった使途については、執行しなかった理由等を補足ください。計画書で予定していなかった内容については、項目の後ろに「（追加）」と記載してください。

※事業統括配分経費から当初に配賦した研究費（選抜学生に一律で当初配賦する研究費）は、「4．博士後期課程学生の選抜等（6）支給期間及び支給額」にも含めてください。

・学際的な研究提案への追加支給

金額：150千円✕1名、200千円✕2名

・英語発表セミナー会場費（追加）

　金額：100千円×2日間

**6.　今年度の実施内容の詳細**

**（1）年間スケジュール**

※計画書の「6．実施内容（1）年間スケジュール」の「２年度目」に記載した内容に対する実施状況について、項目毎に記載してください。

※連携大学がある場合には、適宜連携大学と分けて記載してください。

※計画書の「6．実施内容（1）年間スケジュール」に記載がない場合でも、今年度に実施した内容については記載してください。

※計画内容を実施しなかった、実施内容が異なる、参加想定人数を下回るなど、計画書と異なる実施内容となったと場合には、その理由と対策等も記載してください。

例：

計画：地元企業における無償インターンシップ実施

実施内容：地元企業であるA株式会社において学生○名が無償インターンシップを行った。

実施における改善点等：これまで博士学生のインターンシップを行ってこなかった企業にとって有償インターンシップはハードルが高く、まずは無償インターンシップを行い、有用性を認識してもらうこととなった。また、今年度は支援期間が短かったこともあり、企業・学生共に十分な準備が出来ず当初想定した人数の支援が行えなかった。来年度以降は支援期間が十分取れることもあり、参加者数は想定人数を満たすと考えている。また、これまで無償インターンシップを受けて入れていた企業に対して有償化を打診すると共に、無償インターンシップを通じてインターンシップ先を増やしていく。

**（2）既存の取組みとの連携・活用**

※今年度に既存の取組みとの連携・活用を行った場合には、実施内容を記載してください。

例：

既存の取組み：海外研修支援制度

実施内容：選抜学生3名の国際学会参加における海外渡航に係る旅費（最大10万円）を支援した。

**7.　その他**

**（1）課程を修了した選抜学生の進路**

※本報告書提出時点で把握している範囲にて、令和5年度で支援を終了した選抜学生の進路について記載してください。標準修業年限までに課程を修了できなかった選抜学生も含めてください。また、各人数に占める留学生数を（　）に、女性の人数を【　】に記載してください。また、各人数に占める留学生数を（　）に、女性の人数を【　】に記載してください。

※必要に応じて表の下部に補足説明を記載ください。

※連携大学がある場合には、大学別に記載してください。

○○大学　※単独申請の場合は、「○○大学」を削除下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | アカデミア | 企業 | 官公庁 | 起業 | 学業  継続 | 就職 活動中 | その他 | 合計  人数 |
| 支援 終了 人数 | 自学  ○（○）【○】 | 国内  〇（〇） 【○】  海外  〇（〇） 【○】 | ○（○）  【○】 | ○（○）  【○】 | ○ （○） 【○】 | ○ （○） 【○】 | ○ （○） 【○】 | ○（○）  【○】 |
| 他機関  ○（○）【○】 |
| 海外  ○（○）【○】 |

その他内訳（差し支えない範囲で表の下部に記載をお願いします。）

**（2）中途辞退者について**

※一度選抜したものの支援期間の途中で支援を終了された方の辞退・離脱理由について記載をお願いいたします。

※各人数に占める留学生数を（　）に、女性の人数を【　】に記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 別制度採択 | アカデミア 就職 | 企業  就職 | 官公庁 就職 | 起業 | その他＊2 | 合計  人数 |
| 支援 終了 人数 | 学術振興会特別研究員（DC）  ○（○）【○】 | 自学  ○（○）【○】 | 国内  〇（〇） 【○】  海外  〇（〇） 【○】 | ○（○）  【○】 | ○（○）  【○】 | ○（○）  【○】 | ○（○）  【○】 |
| その他制度＊1  ○（○）【○】 | 他機関  ○（○）【○】 |
| 海外  ○（○）【○】 |

＊1：その他制度内訳（差し支えない範囲で表の下部に記載をお願いします。）

＊2：その他内訳（差し支えない範囲で表の下部に記載をお願いします。）

**（3）選抜学生の研究成果**

※選抜学生の研究において特筆すべき成果があれば記載してください。（論文、特許、学会賞の受賞、研究成果のプレスリリース、ウェブサイト掲載等のアウトリーチ活動、外部資金の獲得等）

※論文謝辞に本事業名が記載されている論文があれば、数件分を分かるように記載ください。

**（4）その他特筆すべき事項**

※博士後期課程学生支援プロジェクトにおいて特筆すべき事項や成果等があれば、可能な範囲で記載してください。（新規共同研究の開始等）

例：

選抜学生同士の自発的な意見交換が促進された。

プロジェクトの周知活動を通して、企業や外部協力機関の有識者からプロジェクト運営に関する助言が得られた。

本プロジェクトを起点とした新たな産学連携が開始された。

○○株式会社へのインターンシップをきっかけに共同研究を開始した。

留学受け入れ先との協議が進捗した。

事業統括や推進体制の教員と支援学生との対話や面会などを実施した。

**（5）採択時・ヒアリング時のコメント等への対応**

※2021年度公募時の採択通知及び計画書作成にあたってのコメントにおいて通知された内容や2022年度に実施したヒアリングの際のコメント等を記載し、その内容等に対する対応アクション、結果を簡潔に記載してください。なお、全ての通知コメントではなく、対応が必要となるもののみ記載してください。

例：

採択通知コメント：産業界とのネットワークを強化していただきたい。

対応：計画書において運営体制と審査体制における外部有識者の役割を明記した。また、地域のコンソーシアムを活用し、選抜学生向けに地元企業とのマッチングの場を提供し、共同研究に向けた検討が開始された。

**（6）ご意見等**

※博士後期課程学生支援プロジェクト推進において、障害となっている点、お困りの点等ございましたら、記載してください。また、学生からの意見もあれば記載ください。